

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下同番地 電話六三〇番 印刷所 常盤毎日印刷所

# 常盤新報

定部金貳錢 廣告費五錢 印刷費五錢 零售每份五錢 郵費在內 每日發行 星期日休息 祝日休息 電話六三〇番

刊夕日七月九

### 寄書

#### 娛樂

三浦春水 (終)

こんな風に考へて来た時に、娛樂も求むることは、又娛樂に樂しむことは、堂々たる人格的意義に於て是認せらるべきものである、殊に現代に於て是認など、云ふ客觀的な話でなくして切迫せる必須であるとして、てよい、閑人は生活全體で娛樂して居るから、彼等に改めて娛樂の必要はないかも知れぬ、併し苟くも現代

に即して忙はしく生きて居るものには、娛樂を必須の要件とする、娛樂を無用のもの又くだらぬものなど、考へるのは、人生を昔の儼長なる生活形式に於てしか眺め得ない人々の閑論であらう、或は又、人生を現實から離れてのみ考へて居る或種の學者といふ人の超論であらう。

時まさに社會的にもご樂が是認されて居る休暇である、堂々として生活のレクレエーションとホッピーとを樂しむべきであらう、但しこのレクレエーションとホッピーとの中にもあるところのご樂の倫理につい

ては、謹んで諸先生の教へを守らなければならない。

活版印刷の御用命を御願致します

優美鮮明 敏速丁寧

所刷印日每警常 五三町橋長町平 (番〇三六話電)

### 貸家案内

舊城跡勤人向金八圓五十錢  
仲間町 全金 拾圓  
全金 五圓五十錢  
全金 五圓五十錢  
全金 五圓五十錢  
全金 四圓五十錢  
白銀町商店向金貳拾圓  
料理店向金 八圓  
旅館向金 八圓  
鷹匠町勤人向金五圓五十錢  
五丁目 全金 五圓  
内郷小島全金 八圓

### 加藤營業所

白銀町(電話三三二番)

平町紺屋町(縣社通り)

美味評判 **イロハ食堂**  
オの部電話四六〇番

喫茶部開設

心地よき秋が訪れました  
秋向着尺  
モスリント  
帯側が澤山  
入りました  
ゼヒ當店へ  
平二  
龜田屋  
電五七

### セメント

壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス

磐城セメント株式會社  
代理店 **西村屋藥舖**  
平町二丁目(電三)

### 外科

一般外科  
泌尿科  
婦人科

醫學士 海津俊一  
主任 木下寅一  
院長 新妻由五郎

**赤産病院**  
平町電四七五

### 頭痛に即効藥

荒川のノーション

特約店 **大平屋藥店**  
電話六四二番

### 理想的耐水耐熱接合劑

#### キングパスト

◎水か微温湯で溶せばすぐ使へる簡便な膠着劑  
一名コナニカワ  
◎四季を通じて一度ついたら膠着力は絶對的  
◎理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防腐の効果著し

**小野屋藥店**  
電話一四四番

### 内臓外科 專門 藤本 順

骨關節外科  
整形外科  
婦人科  
院長 **木村寅次郎**  
平町新川町  
外科 產婦人科  
**木村病院**  
電話一六四番

### 外科 專科

× 入院應需

**上田外科醫院**  
平町南町  
電話一二九番

### 原齒科醫院

平町土橋通り電話三二番

今秋流行の **鳥打帽子**  
各種取揃へました

目下五 **ヤタリモ**  
店品洋  
三五三電

### 耳鼻咽喉科專門

場所(舊診療所裏通り)

# 合津醫院

平町仲田町(電話五五九)

ユラノスケ粕取燒酎發賣  
二合白瓶 貳拾五錢  
(空瓶交換仕候)  
平町四丁目平驛通り  
**永山酒造店小賣部**  
電話二〇七番

### 縣體育大會出場の 石城郡選手決定す

#### 平町から七名挙げらる

来る廿一日若松市に於て開催される本縣聯合青年團主催の體育大會に出場すべき石城郡選手は這般の郡體育大會優勝者中より詮衡中の處此程左記の如く決定し来る十五日磐城中学校に參集、選士の顔合せを行へ出場に關する一切の協議を行ふ筈で平町からは七名の選士が挙げられ居る事として同町青年團の意氣込み仲々熾んなものあり来る十二日午後七時から藤田女學校に於て分團長會を開き應援方法其他の段取りを打合せの由因に郡選士名左記の如くである

種目	所屬團	氏名
四百米	湯本	西田武夫
一千五百米	好間第一	齊藤安之丞
一萬米	好間第一	泉美誠
走中跳	好間第一	高根澤秀雄
走高跳	好間第一	志賀重郎
砲丸投	好間第一	西田武夫
八百リレー	好間第一	後藤晃雄
同	好間第一	渡邊富藏
同	好間第一	大槻義雄
同	好間第一	大井川遠平
同	好間第一	荒川宗弟
同	好間第一	西田操
同	好間第一	堀田正幸
同	好間第一	安齊利三郎
同	好間第一	山口銳太郎
同	好間第一	小野寺春雄
同	好間第一	佐藤一男

### コ、一週間の後には 走り秋刀魚が食膳に

石城郡各濱に於ける夏漁即ち鯉漁は殆ど終りに近づき相場も再び昂騰して來たが九月は各濱では夏漁と秋漁の職替ひを行ふ期節なので各漁業者 それぞれ秋刀魚漁開始の準備として秋刀魚網の手入れ漁夫の雇入れ等を行つてゐる事は既記の如くだが今夏の鯉漁は近年にない豊漁であり各漁業者はホク／＼ものであるが此の分だと秋刀魚漁の豊漁も疑ひのない事であると出漁中の魚船は鯉漁と合せて秋刀魚漁をなすべく出航してゐる未だ

### 荒れにするか なが雨がよいか

#### 意地悪な天公の見暮 骨のずる迄腐る鬱陶しさ

つい先日まで毎日百度近い高温で炎熱地獄を見せてゐた平地方もけふ此頃は人の氣を滅入らせる様な小ぬか雨がしとしと降り続き、こゝしばらくは霽れそうな氣配も見えない、いま四五日もこんな天候が続けば骨の髄まで腐つてしまふ様な鬱陶しさだ街頭にはあの颯爽とした白地に麥葉もすつかり姿を消し

最早夏の面影は何處にも見られない、この霖雨に驚いたかすだく様に鳴き盛つてゐた秋虫の聲もとんと聞こえなくなつてしまつた、このなが雨は何時霽れよるか？ 小名濱測候所の語る所に依れば折角なが

この天候が何時候復するかは目下の所一寸見當がつかないと頗る心細い

事と豫想されてゐる一氣に巨萬の利益を納める事のある大敷網は今夏は潮流の關係からか極めて不良であつたが九月から十月は大敷網のいはゆる漁期となるのである、それ／＼網を

### 本町通で公然と 乗客の奪ひ合ひ

#### 不正者が増加し 平署自動車取締を厳行

縣下第一の乗合自動車數を有して居る平町では同町を中心に湯本行、四倉行、赤井行、江名行等の各自動車路線が引切りなしに往復するので平町本町通りの樞要地點では公然乗客の奪ひ合ひが行はれ殊に四倉町其の他の自動車營業者中には平町内に於ける車體の雜踏に紛らはし一定の停留所を有せずして處選ばす停車し乗客の横取りを企てんとする不正なものが増加して來たので平町自動車營業者は非常に迷惑し本日平署に其の向き願出で來たので同署では嚴重な取締りをなす事となつた

張り替る 等種々手入れをなしてゐるが秋になると潮流が自然と變化するので秋刀魚漁と共に大敷網の鮪漁で各濱は活氣を呈するものと豫想されてゐる

は城主が同神社に仕へてゐたと傳へられてゐる平町にとつては由緒深い神社だの大例祭は来る十六十七の兩日執行される筈で此の大例祭は五年目ごとに行れると

### 物見ケ岡 稻荷の祭典

#### 五年目の大祭

平町を眼下に見下ろしてゐる物見ケ岡稻荷神社は舊平城の氏神様で廢藩置縣後にふり入れて味をよくし、次にトマトの水氣をふきんでふき取つて、トマトの穴一杯に鰹のまぜ物を詰め、その上にチーズをふりかけてランパンにならべ入れ、中火位の天火に入れ約十分位焼きますと、トマトが軟かくなりましたら、取出して皿に盛り温かい中にすゝ



トマトに  
小蝦の詰め物 (下)

次に鰹とチーズをホワイ トノースの鍋に入れよくまぜ、味の素小匙三分の一を

### 小兒の 罹病相次ぐ

#### 石城の傳染病

石城地方に傳染病が猖獗してゐるので平署では各町村役場と協力して豫防方法を講じてゐるが最近發生した傳染病患者のうち一家三名がいづれも同じ病氣にかつてゐる家が三軒もある石城郡豊前村字八幡町鈴木し

場龜田洋子(女)同愛子(女)同千鶴子(女)の三名も同様赤痢と七日決定した

### 建具の入札

#### 平第三校の

平町にては十六日午前九時から第三小學校の建具入札を行ふ由